

## 様式第4号

課題名	新型コロナウイルス感染症に伴う集中治療後症候群の研究 Post-Intensive Care outcomeS of patients with COronaVirus Disease 2019; PICS-COVID study -多施設共同前向き観察研究
承認番号	2020-33 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 集中治療部 氏名 杉木 馨
研究期間	(西暦) 2020年12月 ~ (西暦) 2022年12月
研究の意義・目的	コロナウイルスに感染し集中治療室に入室した患者さんの身体機能、認知機能、精神の障害を調べて、コロナウイルスが重症患者の長期予後にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。
研究の方法 (対象期間含む)	2020年3月より2021年3月末までに治療した方の診療録、検査データの調査を行います。また、ICU退室6ヶ月後、1年後、2年後に身体機能、認知機能、精神に関するアンケート用紙を郵送致しますのでご協力をお願い致します。対象となるのは集中治療室で人工呼吸管理以上の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報である病名、治療経過のみです。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	利用目的：コロナウイルス感染症に感染した患者さんの身体機能、認知機能、精神の障害に関連のある項目を調査し、重症患者の長期予後への影響を評価するために利用します。 利用方法：電子カルテから日常診療で得られる下記情報を収集し、匿名化されたデータを研究責任者に提供します。また、ICU退室6か月後、1年後、2年後のアンケート用紙は、委託業者が郵送・回収の管理を行い、取りまとめた後は研究主管施設である東京医療センターが保管します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	日常診療から得られる年齢・性別・基礎疾患などの背景、重症度スコア・肺炎重症度スコア・ICU在室中の治療・リハビリ・栄養などに関連するデータ
試料・情報を 利用する者の範囲	当院の研究分担者(永田 功)、ならびに共同研究施設の研究責任者と共同研究者
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	当院：集中治療部 杉木 馨 提供先：国立病院機構東京医療センター 救命救急センター 医師 畠山 淳司
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 集中治療部 氏名 杉木 馨、永田 功 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101